

滑川民報

第150号
2021年7月発行

連絡先 ☎475-3767
日本共産党滑川市委員会
日本共産党議員団

政治の
現場

滑川市議会 6月定例会 市民の疑問を届ける

関係の
部署1



滑川市議会議員

古沢利之

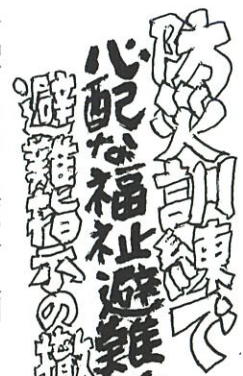
古沢 64歳以下の方へのワクチン接種は基本的にどう考えているか。
石川副市長 65歳以上の後は、基礎疾患のある方、順次年齢を下げて対象にしていきたい。優先接種



新型コロナ対策 ワクチン接種 どうなる64歳以下

滑川市議会6月定例会は、6月9日から21日まで開催。市長から提出された令和3年度滑川市一般会計補正予算(第一号)など11議案と、追加提案された人事案件、市議会会議規則の一部改正案などを可決し、閉会しました。「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書」は、日本共産党以外の議員が反対し、不採択となりました。反対議員はだれも反対討論をせず、理由を言わないままの反対でした(記事参照)。
古沢議員の代表質問、角川議員の一般質問とそれに対する答弁の概要は次のとおりです。

古沢 は今後検討したい。平日、日中以外の時間帯を希望される方も多いと思う。市医師会と調整を進めている。
石川副市長 優先接種はどうか。
石川副市長 基礎疾患のある方は、自己申告してもらう。
古沢 職業等で優先接種する自治体もあるがどうするか。
石川副市長 難しい課題がある。人と触れ合う機



古沢 8月に県の防災訓練が予定されている。市として連携した具体的な計画はどうするか。
石坂総務部長 昨年はコロナ禍で凶上演習となった。今年度も同様だが、総

会が多い、クラスターが考えられる等々があると思う。詳細は今後詰めていく。
古沢 ワクチンですべて解決にはならない。検査の拡充が必要だ。
石川副市長 県にも拡充を要望していく。
古沢 変異株の心配もされている。県の衛生研究所でゲノム検査ができるが、まだ検査数が少ない。幅広い検査が必要だ。
石川副市長 県内では衛生研究所が担っているの

合的な訓練になるよう県と協議している。市としては、避難所開設運営訓練等を予定している。
古沢 特に心配なのは福祉避難所の開設運営だ。
石坂部長 要配慮者の方を福祉避難所へ移送する訓練も予定している。現在4か所あるが、各避難所と協議を詰めていきたい。

古沢 内閣府では先日、これまでの避難勧告、避難指示といった避難情報に分かりにくく、避難指示に一本化された。防災計画等見直しが必要になるのではないかと。
石坂部長 本市でも新たな発令基準で運用していく。7月広報で改正概要を掲載したチラシを配布する。地域防災計画、防災情報 避難所運営BOOK等も見直し、修正を行う。



古沢 国保が県域化になつて数年たつ。保険料の統一について協議が始まるようだが、見解を問う。

網谷産業民生部長 平成30年度から県が国保の責任運営主体となつた。県が国保の運営に関する指針を定めており、保険料水準の統一などが記載されている。現状は市町村間で医療費水準や保険料水準に差異があり、統一には課題が多い。しかし、将来的には

統一を目指すものである。

古沢 平成元年度では国保税の高いところと低いところでは1.5倍ほどの差がある。運営指針では市町村独自の保健事業なども統一への議論が必要としている。市町村の独自性、自治の姿から離れるものではないか。



子どもの均等割り 国の制度に加え 市独自の向上乗せも

古沢 国は来年度から、未就学児に限って、子供の均等割りを50%軽減する。国の制度に上乘せして、軽減する考えはないか。

網谷部長 さらになる軽減拡大は、国の責任と負担で行うべきと考えており、市独自の取り組みは考えていない。

網谷部長 指摘のとおり市町村独自の事業や軽減策は尊重されるべきと認識している。しかし、将来的には統一を目指すしていると理解願いたい。

地域医療構想 病床削減は許されない 大阪府の事例で追及

古沢 大阪府下など全国で、昨年度急性期病床を中心として病床削減が行われた。国はそうした医療機関に「病床削減支援交付金」との国費を支給している。厚生労働省は、医政局長、事務次官が知事に対してこの制度を周知して、病床削減を推進するよう求めている。コロナ禍で病床がひっ迫するなか、こんでもない話だ。県から医療機関にこうした働きかけがあつてはならないと考える。

網谷部長 国は令和7年度までに「構想」の実現を目指しており、今回の財政支援はその促進策と認識し

2021年原水爆禁止
滑川市大行進
2021年原水爆禁止
国民平和大行進が6月4日、雨中の滑川に入り市役

政務活動以外の記事

ている。市としては、医療費の削減や医療機能の縮小のために、身近な公的病院が機械的に再編統合されることは、市民の安全安心な生活の確保に大きなマイナス要因と考えている。

古沢 国の交付金は今年度には昨年度の2倍が予算計上され、さらなる病床削減を計画している。しかもその財源は消費税だ。消費税増税のたびに政府は、福祉のためだと言ってきた。このコロナ禍で、病床削減のために使うというのは二重、三重に許しがたい。

網谷部長 大阪の事例も紹介された。本来ならば、



滑川市役所玄関前での交流会

所で交流会を実施、その後上市へ向かいました。

今年は、核兵器禁止条約が発効し核兵器が違法化された歴史的な年、日本政府へ条約に署名・批准を求める行動となりました。

エール横で地元によるスタンディングと行進、そして市役所で交流会(行政側と議会側からの歓迎挨拶等、行進団からお礼、原爆体験談朗読)を進め終了、行動に16名の参加でした。

国にも直接要望したいところだが、コロナ禍でなかなか実現しない。引き続き県へも重点要望していく。

介護施設職員への ワクチン接種 早期実施を

滑川市議会議員

角川 まさと



角川 コロナウイルスの
ワクチン接種について、高

齢者施設 特に通所施設や
在宅介護の職員に対して
どのようになっているの
か。

結城市民健康センター所長
4月23日から入所して
いる高齢者接種の機会に
合わせ、施設に従事し希望
する職員を対象に接種を
行っている。通所施設や在
宅介護職員についても、対

感染拡大防止で PCR検査も 定期的実施を

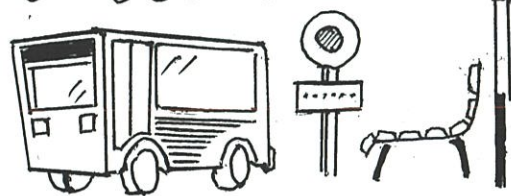


角川 ワクチンを接種す
ることによって免疫を獲
得することはできるが、感
染の恐れはまだ消えてい
ない。感染拡大を防ぐため
に、まず誰が感染してい
るのかを把握する必要があ
る。高齢者施設などでPCR

R検査を定期的に行う必
要があると思うがどうか。

石川福祉介護課長 現在、
県において高齢者施設等
の従事者に対して検査を
進めている。ワクチンを接
種していない高齢者施設
の従事者や障害福祉サー

滑川市の 公共交通の今後を問う



象範囲を拡大し接種する
ことにしており、現在調整
している。

角川 介護職員だけでな
く、同じ施設内の事務員な
ども検討されているか。
結城市長 事務職の方も
含め、施設内の方全員がワ
クチン接種の機会を得ら
れるよう調整している。

バス事業所については、7
月中旬ごろから接種を開
始できるよう調整してい
る。これらのことから、定
期的な検査は想定してい
ない。

角川 今回の補正予算に
バスの更新があるが、こ
れまでと同様の大型のバ
スになるのか。

石坂生活環境課長 25人
乗り程度を検討している。

角川 地域公共交通網形
成計画では、車両更新計
画の中に小型バスの導入
検討が含まれている。今
回の更新においてどう検
討されたか。

石坂課長 小型バスの検
討もしたが、利用状況を
踏まえると乗りこぼし等
の可能性もあるため、小
型バス導入は見送ったと
ころである。

角川 バスを大きいまま
か小型にするのかといっ
た検討は、どういったタ
イミングで行うのか。更
新を行う直前なのか、あ
るいは1年程前くらいか
ら行うのか。

石坂課長 乗客数の経年
の変化等を踏まえた上
でという形になるため、
購入のぎりぎりの時期
になる。

角川 地域公共交通網形

成計画では、小型バスや
デマンド交通、ハブバス
停の検討を昨年度行い、
今年度はその検討結果の
実施となっている。検討
の結果はどうなのか。

石坂課長 いずれも導入
に際しては大幅な運行ル
ートの見直しが必要とな
る事から、今後も継続し
て検討したい。

角川 このままの計画だ
と、来年度に結果が出る
ことになっているが。

石坂課長 基本的に、今
の形の運行を継続したう
えで、検討の継続という
形になると思う。

角川 今のコロナ禍では
そぐわない内容が多い計
画となっており、見直し
の必要もあるのではない
かと思うがどうか。

石坂課長 計画の最終年
度が令和4年度となつて
いるので、その年度で最
終的な変更の検討をしな
ければならないと思つて
いる。

行田公園 すいれん池 環境見えず 修繕は？

角川 行田公園内の、水生植物が育てられていた「すいれん池」だが、今は水が入ってなく雑草が生い茂っている。ここをどうするの。

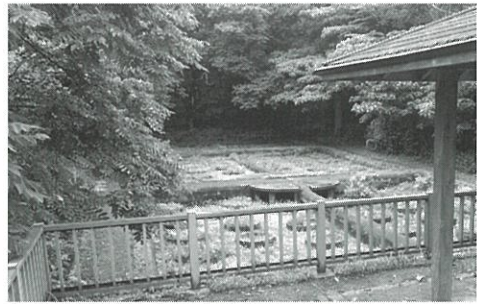
荒俣公園緑地課長

現在は、水を管理する機能が老朽化により使えなくなっており、使用を中止している。今後は、市民ニーズの変化を考慮し、ここを含め老朽化した施設の利活用を考えたい。

角川 修繕はできないのか。直そうとした場合どのくらいかかりそうか。

荒俣課長 この池は3層構造になっており、一番下の池に水がたまると、その水の重みで次の池に水が行く、またその次の池に水が行くというサイホン式の給水の仕組みになっているため、修繕は簡単ではない。また直す

場合、池の表面や周りのコンクリート部分を壊さなくてはいけないため、百万円以内では終わらないと思う。



「すいれん池」撮影日：令和3年7月

道路安全点検で 早急な補修を

角川 市内各地で歩道改良の計画が進められている。除雪作業などで大きくガードレールが破損したなどといった分かりやすい破損はすぐに修繕されるが、特に事故や破損することがなく老朽化しているようなものは、傷

んでいるようなものは、傷

核兵器 禁止条約 関係意見書



市議会でも 不採択 賛成

6月議会最終日に議員提案された「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書」は賛成者が古沢、角川の日本共産党議員だけで不採択となりました。この条約は永年にわたる被爆者、遺族の活動によつて、2017年に国連会議で採択され、今年一月批准国が50ヶ国になったことにより、発効したもので

す。条約は、核兵器は非人道的な兵器だとして、開発、実験、貯蔵、使用、威嚇などすべての活動を違法としています。核兵器廃絶への道筋を具体的に示しています。条約の調印国は86ヶ国、批准国は54ヶ国になって

反対議員 理由を述べた 非核平和都市宣言「背く

滑川市議会は、昭和63年6月に「非核平和都市宣言」を行い、「すべての国の核兵器の緊急な廃絶を強く訴える」と呼び掛けていたのです。

今回、滑川市議会がこの意見書を不採択にした

います。しかし、日本政府は唯一の戦争被爆国でありながら、この条約を無視する態度をとっています。

地方議会ではこうした政府の姿勢に対して、条約の調印・批准を求める声が大きく広がっており、6月19日現在では570議会、全国の三分の一を超えています。県内でも入善町、黒部市では全会一致で採択されました。

ことは、自ら行ったこの「宣言」の精神に背くと同時に、被爆者をはじめ国民の核兵器廃絶を求める願いに背けるものです。しかも、反対するにあたって反対討論もせず、反対する理由をなんら明らかにしなかつたことは、議会人として極めて残念な態度といわなければなりません。